

市議会だより

いちき 串木野



冠嶽の博布堂次郎工房「陶風鈴まつり」

No. **103**
2025.8.5

4月臨時会（4 / 28 ～ 5 / 2）・ 6月定例会（6 / 6 ～ 6 / 27）

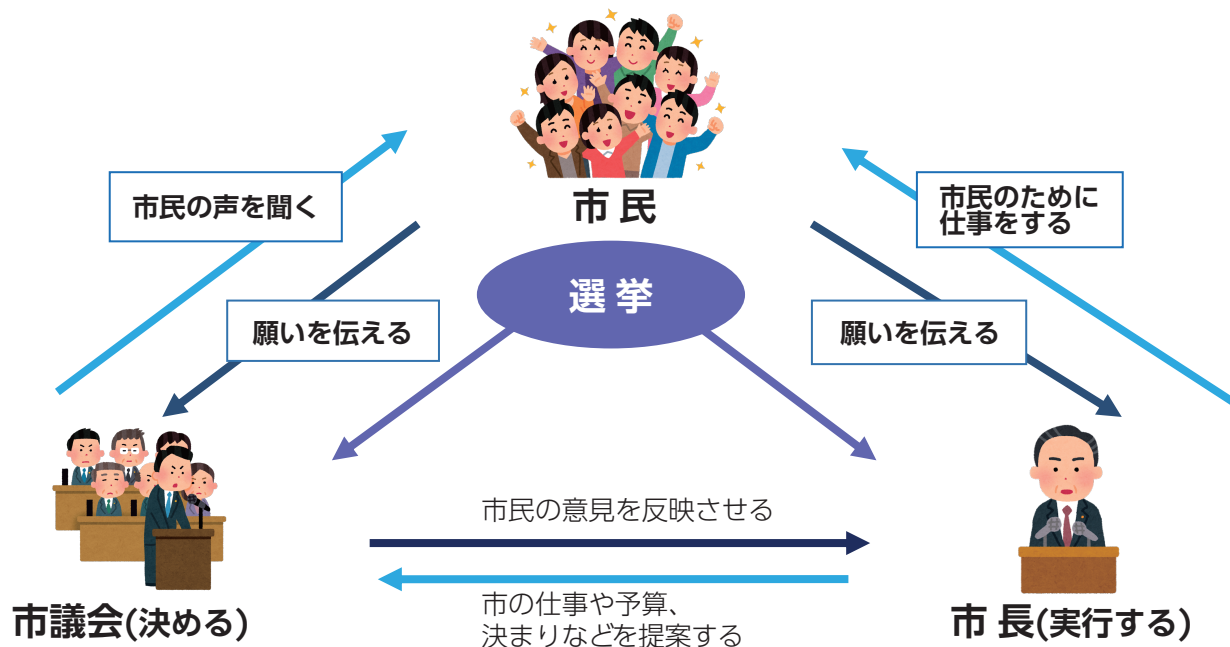
- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| ○特集「いちき串木野市議会ってどんなところ？」・・・ P2・3 | ○条例の制定・改正・・・ P10・11 |
| ○9人の議員が市政を問う・・・ P4～9 | ○議員と語る会・・・ P14・15 |
| ○補正予算審査・・・ P12・13 | ○表決結果・・・ P17 |
| ○政務活動費の使途状況・・・ P16 | |
| ○9月定例会日程案・・・ P18 | |

特集

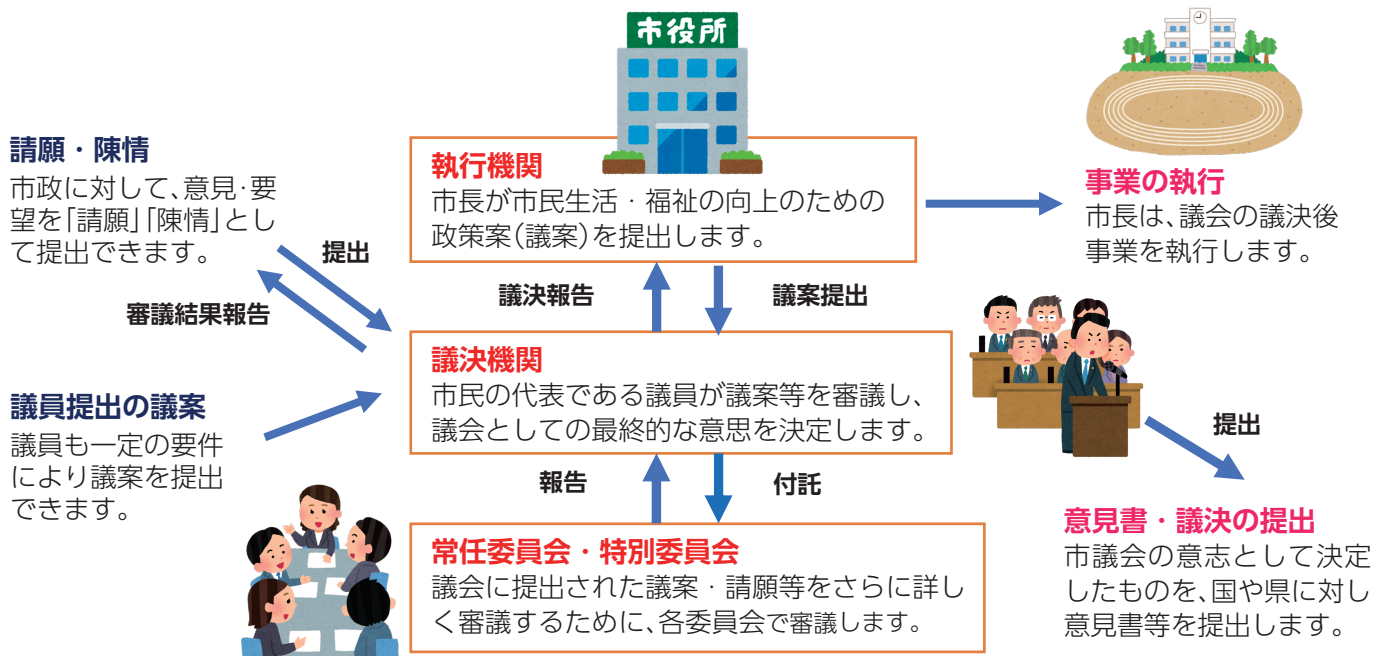
いちき串木野市議会ってどんなところ？

市民の代表者として、市の仕事の進め方や予算・条例などの決定、市の仕事が正しく適切に行われているかどうか監視することによって、市民の皆さんの意見を市政に反映させていくことにあります。

☆市民・市議会・市長の関係



☆市議会のしくみ



☆ 請願 と 陳情 について

いちき串木野市などのまちづくりについて、「こうしてほしい」や「こうなったらいいな」等のお願いや意見を市議会へ伝えることができます。

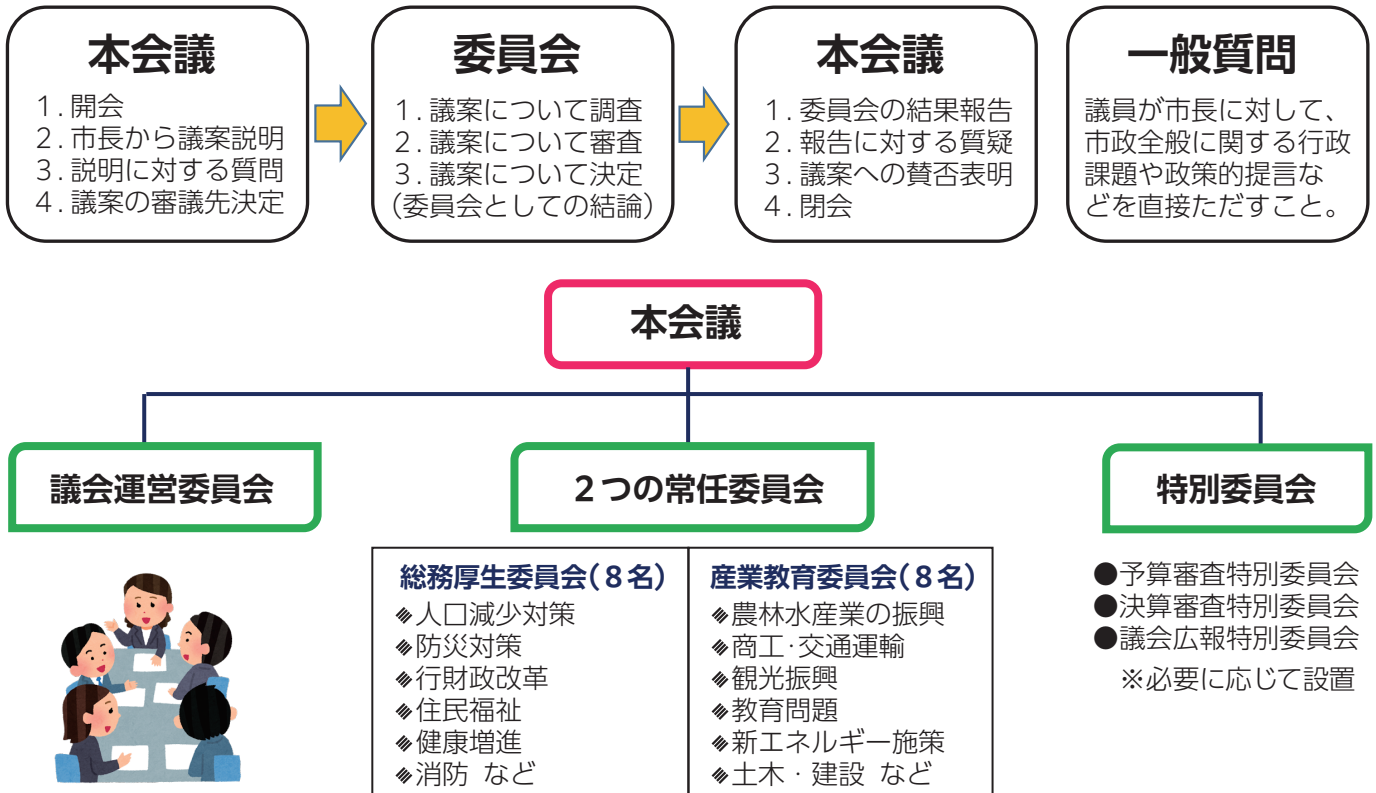
◎議員の紹介が必要な『**請願(せいがん)**』と、議員の紹介が不要な『**陳情(ちんじょう)**』があります。

※詳しくは議会事務局に相談・お問い合わせください。33-5648(議会事務局)

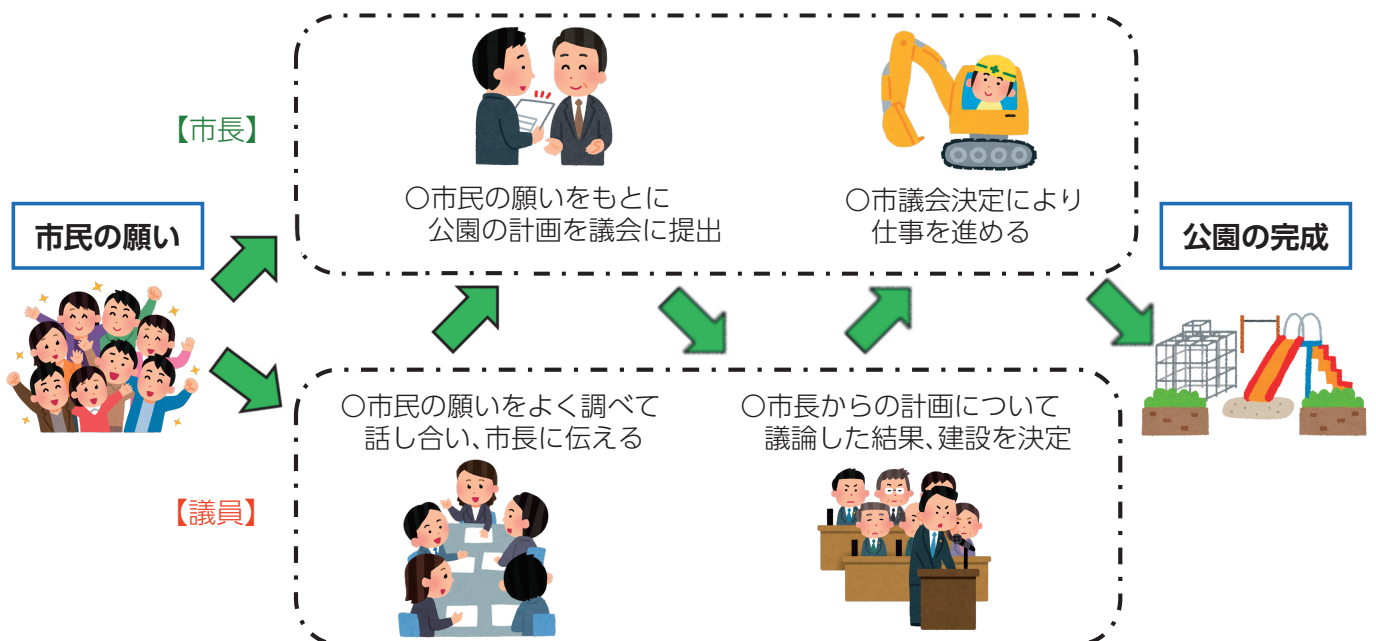
☆ 市議会のながれ

定期的（3月・6月・9月・12月の年4回）に開く**定例会**と、必要な時に開く**臨時会**があり、市の仕事の分野ごとに分かれて専門的にチェックする**委員会**が開かれます。

また、定例会の閉会中も委員会ごとに継続調査や、議員派遣などの研修会を行っています。



☆ 事業の執行 <<例えば、公園ができるまで!!>>



☆ 〆 いちき串木野市議会議員立候補予定者説明会

8月27日(水) 14:00 ~ 市来庁舎3階にて

さあ一歩前へ！ 求む立候補者！！

いちき串木野市政の ここが知りたい!!

一般 質問

※一般質問とは、議員が市の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、
所信の表明を求めるもので、政策論争が行われています。

6月定例会の一般質問では、市政について9人の議員が26項目の質問をしました。
質問・答弁の内容（5～9ページ）は、議員本人が要約しています。

※新型コロナウイルス・インフルエンザの感染拡大防止のため、一般質問の質問時間を
通常 45分 ⇒ 30分に短縮しています。（市当局からの答弁時間は含みません。）

●一般質問の様子は、市のホームページで公開しています。動画の視聴はこちらから ⇒



6月16日(月)

は ま だ ひ さ し
濱田 尚 議員(P5)

1. 地方創生 2.0 への対応について
2. 商工振興について

た ば た か ず ひ こ
田畑 和彦 議員(P5)

1. 認知症の対応について
2. 資源物・ゴミ出し等について

ひ が し い く よ
東 育代 議員(P6)

1. ハラスメント防止の取組について
2. 消防行政について

だ い ろ く の か ず み
大六野 一美 議員(P6)

1. 本市の食料自給率を問う
2. 観光地誘客と整備について

よ し ど め り ょ う ぞ う
吉留 良三 議員(P7)

1. 女性や若者に魅力あるまちづくりの推進について
2. 身寄りのない高齢者・単身者問題について
3. 川内原発の安全対策について

6月17日(火)

え ぐ ち よ し こ
江口 祥子 議員(P7)

1. 障害者手帳のデジタル化について
2. マイナ保険証の利用について

た か ぎ し ょ う じ
高木 章次 議員(P8)

1. 本市の農業について
2. 洋上風力発電について
3. 長崎鼻公園再整備事業について
4. 図書館について
5. 川内原発について

た な か か ず や
田中 和矢 議員(P8)

1. 水道基本料免除で市民の生活支援を
2. 防災訓練を全まちづくり協議会で実施すべき
3. 西塩田町の県営串木野団地付近に外灯の設置を
4. 技能研修生の交通マナー指導を
5. 串木野高校に情報系学科の設置を

ふ く だ き ょ ひ ろ
福田 清宏 議員(P9)

1. 中国風庭園「冠嶽園」の一部改築について
2. 自治公民館への加入促進について
3. 五反田川左岸導流堤に沿う歩道の改修について

議会を傍聴してみませんか

本会議や常任委員会等は原則として一般に公開されており、どなたでも傍聴できます。
(6月定例会の傍聴は、延べ29人でした。) ※本会議中継は、こちらからご覧いただけます。⇒





瀧田 尚
議員



[映像配信ページ]

「×楽しい」での市政運営を 市民の幸せの大きな方向性

問 石破首相は地方創生の原点に返り、地方を守り抜くとして地方創生を2.0にアップデートした。これまでの総合戦略の評価と今後の方向性は。

答 この10年間の取組では、三つの無償化をはじめ、子育て世代の暮らしやすさの向上に努めてきた。以前発表された人口推計値より人口減少ペースが緩和している。今後は、本市の強みや個性を活かした魅力あるまちづくりを進め、選ばれるまちの実現に向けて取り組むたい。

問 地方創生2.0には「楽しい日本」とあるが、市政全般の運営において「まちづくり×楽しい」「産業振興×楽しい」「健康・福祉×楽しい」「市役所×楽しい」など、「楽しい」を徹底追及し、夢や希望を抱きやすい市政の運営はどうか。

答 これからは大事な視点、観点で、市民の幸せ、まちの発展という大きな方向に向かって取り組んでいきたい。また、それが楽しみにつながる。

小規模企業振興条例の制定 制定に向け取組む

問 市内で大多数を占める小規模企業及び中小企業は、雇用の創出や地域経済の発展など、市民生活に重要な役割を果たすと同時に地域に貢献している。地域で頑張っておられる事業者の皆さんをしっかり支える「中小企業・小

規模企業振興条例」を制定すべきではないか。

答 中小企業者が地域経済の発展、地域住民の生活向上を支える役割を果たすこと、その振興に当たっては関係者が相互に連携や協力を行うことなどを規定し、その理念に基づいて、中小企業と関係機関・団体、そして自治体も連携しながら、地域経済の発展につなげていくものであり、条例制定に向けて取り組みたい。

問 洋上風力発電の計画も進んでいる。産業拠点化や経済波及効果など考えると有効では。

答 先行する自治体においては、地域の経済循環により中小企業の振興につなげるという取組もある。市内事業所が関わる機会の創出に市全体が同じ方向を向いて機運醸成等含めて、取り組みたい。



田畑 和彦
議員



[映像配信ページ]

認知症の方の行方不明時の対応 安心して暮らせる地域創りを推進

問 本市には認知症及び予備軍が約3,000人。本年3月認知症の方が行方不明となりお亡くなりになった。往々にして痛ましい結果となりがちな命に係わる認知症をどのように受け止めているのか。

答 令和5年に全国の警察へ認知症行方不明者捜索届出は、過去最高の19,039人。認知症は増加傾向で誰でもなり得るもので、他人事ではない。隣近所の助け合える社会、認知症の方・家族・地域とのつながりで安心して暮らしていける地域づくりを進めていく。

問 徘徊搜索の一助となる見守りタグ利用が少ない。群馬県高崎市では個人情報保護を尊重しながらGPS機器を無償貸与し、行方不明となった事案は、9年間累計で2,595件あり、全員が保護されている。(9割が1時間以内に保護)

答 事業の周知と登録を必要とする認知症本人や家族の気持ちや思い、個人情報保護を尊重しながら普及を図っていく。

問 早期発見保護には、防災無線で徘徊情報をすぐに発信することが重要。その際、公民館名や名前は公表せず本人や家族の個人情報が守られていることを家族に周知啓蒙を図ることが大事では。

答 緊急時は速やかに警察・消防に届出することや、防災無線では個人情報に配慮した放送が可能であることを出前講座等で周知を図り、ためらわずに防災無線を活用するよう呼びかけていく。

問 まちづくり協議会のボランティア搜索活動への炊き出しに対し補助制度を設けるべきでは。

答 搜索に関する体制づくりが重要で、本市の搜索対応マニュアルを基本にし、要綱を整備する。

資源物・ゴミ出し等 地域・公民館で協議支え合う支援

問 本市の4割は65歳以上。膝や腰が痛く資源物当番は難儀!困難!との声が多くある。当番制の廃止・見直しを検討すべき。

答 当番の方法は公民館によって異なっている。実施方法は状況により柔軟に対応して頂きたい。

問 資源物処理は将来を見据えて、隣接市の処理業者との連携を検討すべきでは。

答 施設の老朽化はあるが、稼働目標の令和21年度まで十分な処理能力があり、現時点で資源物処理の外部委託は考えていない。



東 育代
議員



[映像配信ページ]

ハラスメント防止条例は 他自治体の動向を見て検討

問 2022年4月、ハラスメントの防止や対策を行うことが義務化、カスハラ対策は改正労働施策総合推進法が可決・成立した。他自治体では、ハラスメント（カスハラを含む）防止条例の取組が加速しているが、本市の考えを伺う。

答 現行の「ハラスメントの防止に関する規定」などの適正な運用に努めていくとともに、研修などを行い、ハラスメントの防止に取り組む。条例化は、他自治体の動向を見ながら検討していく。

消防行政について 迅速に対応していく

問 今年度の新規事業「NET119緊急通報システム」について、現状と今後の取組を伺う。

答 6月1日から運用を開始した。システム活用には、事前登録が必要であり、聴覚障害者協会の方々に説明会を実施した。今後も継続して周知活動に取り組む。

NET119緊急通報システム
音声による意思疎通が困難な、聴覚や言語に障がいのある方が、スマホなどのGPS機能を利用して、119番通報が行えるシステム

問 他自治体では、消防本部で妊婦情報を共有し緊急時に備える取組が始まっている。市内に産科がないことから、妊婦の緊急対応及び不安解消のため、本市でも進めるべきではないか。

答 今後、担当課と妊婦に関する情報を共有しながら緊急時の体制構築に取り組んでいく。

問 総合グラウンド近くで発生した急病人搬送にドクターヘリの要請があったが、総合グラウンドへの着陸許可が得られなかった。ヘリの離着陸は最優先事項と思っていたが、市の考えを伺う。

答 緊急着陸場所については、平成23年に県のドクターヘリが導入される際、候補地を挙げ、県が着陸可能と判断した場所を指定しているが、任意であるため施設管理者の協力が不可欠である。人命救助最優先の観点から、看板を設置し、施設管理者に協力を求めるとともに、今回の事案を検証し、二度とこのようなことが起こらないよう徹底していく。



ドクターヘリコプター
緊急離着陸場

使用中でも、緊急時に着陸することがありますので、ご協力をお願いします。

いちき串木野市消防本部(0996-32-0119)



大六野 一美
議員



[映像配信ページ]

本市の食料自給率アップの施策は 稼げる農業のモデルケースを示す

問 昨今の物価高で、あらゆる物の価格が高騰し、とりわけ米の価格は昨年の2倍となっている。市としてどのように捉えて、将来像をどう構築していくのか。

答 ロシアのウクライナ侵攻以降、エネルギー価格の上昇や円安により、ありとあらゆる物が高騰している。特にコメについては、買いため需要や高温障害による作況の悪化等で、高騰する状況が続いている。市としては、次の世代の担い手が意欲を持って営農できるよう、稼げる農業に取り組んでいきたい。

問 本市のカロリーベースでの自給率を伺う。

答 令和5年度、国のカロリーベース自給率は38%で、鹿児島県が79%、本市では41%である。

問 国は自給率の目標を45%としているが、達成した年度はないようである。本市でも、荒廃地を新たに耕し、米づくりに勤しもうという人は、なかなか出てこないように思える。現状をどう打破していくか。

答 農地の大区画化、トラクターの乗入口の拡幅で生産コストを下げる等の取組により、稼げる農業につなげたい。儲かる農業のモデルケースを示せば、若い人や異業種からの参入も期待できる。

西岳2号線の整備を急ぐべき 有利な財源活用で、進捗に努める

問 西岳2号線は、観光地の起点であると考えているが、進捗が非常に遅いと感じる。税収が減

る中で、人が集う場所をつくるために、維持費を低く抑えられる道路整備を最優先すべきではないか。

答 この道路は、令和10年度末の完成を目指しているが、道路拡幅に伴う岩盤掘削量が多く、法面保護工にも多くの費用がかかり、事業費の確保に苦慮している。今後も、補助事業など有利な財源を活用し、事業の進捗に努めたい。

洋上風力発電は、市民への説明を 市民の理解を得られるよう努める

問 洋上風力発電は、県が国に情報提供され、動き出したようだが、市民に対して、もう少し膝を突き合わせて説明する必要があるのではないか。

答 洋上風力発電には、多くの可能性が秘められており、観光面や経済面で、波及効果が大きいと考えている。今後、広く市民の理解を得る努力をしていきたい。



吉留 良三
議員



[映像配信ページ]

女性の生きづらさ解消を 多様な価値観に寛容な社会めざす

問 賃金格差や限られた雇用に加え無意識の偏見が生きづらさとなり、女性の流出を進行させているが、どう考えているか。

答 国も無意識の偏見が女性の地方離れを進行させたとしている。多様な価値観に寛容な具体的な取組が大事である。

問 女性の生きづらさの要因である役割分担意識解消に向けて、男女共同参画推進条例をどう周知し、具現化するか。

答 市民アンケートでも、男女の不平等感を多くが感じている。

根強い慣習を変えるのは容易ではないが、広報紙等で具体事例など示し、市民や事業者等の自主的な取組を促すことで、男女共同参画社会の実現を図る。

身寄りのない方の現状は 65歳以上で単身は2,315世帯

問 身寄りのない方の支援で、現行制度での課題は何か。

答 複数の課や機関が連携して対応することが多く、情報共有が課題。これに対し、重層的支援体制整備事業で福祉課を中心に連携し、情報共有を図りたい。

原発避難計画見直しは不必要か 状況に応じた変更などが可能

問 原発20年延長、使用済み核燃料プールも間もなく満杯。隣接市長としての基本的見解は。

答 原発の安全性の確保は、国が一元的に規制・監督する

が、市も住民避難等の指針見直しで、屋内避難の放射線の低減率など意見を国に対し提出した。

問 能登半島地震も、活断層はなしとされたが、実際は存在し、予想外の被害だった。川内原発周辺に危険な活断層はないのか。

答 活断層の調査はこれまでも行われ、能登半島地震後も新規規制基準見直しには至っていない。

問 原発事故時の避難計画の見直しの必要はないとの判断は。

答 計画では南薩3ルート避難を基本とし、状況に応じ変更できるので計画見直し不要とした。

問 川内原発の核のゴミがあと6年余りで満杯だ。原発敷地内の乾式貯蔵施設に半永久的に溜め込まれたら市民の安全性はどうか。

答 乾式貯蔵施設設置について、九電は信頼性向上の観点から技術的検討の段階との回答である。



江口 祥子
議員



[映像配信ページ]

ミライロIDの導入 導入することで検討を進める

問 デジタル手帳の活用と身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付状況は。

答 スマートフォンの画面を提示するだけで済み、自分が障がい者であることを周囲に知られることなく安心してサービスを受けられるため、心理的負担を軽減し障害を持つ方々が自信を持って社会参加を行うために重要と考える。障害手帳の交付状況は、令和7年4月1日現在身体障害者手帳1,666人、療育手帳380人、精神障害者保健福祉手帳364人である。

問 障害者手帳を提示することで割引を受けられる公共施設やその他のサービスは。

答 公共施設は、高齢者福祉センター、薩摩藩英国留学生記念館、スポーツ施設で利用料の割引を行っている。令和6年度の主な実績は、Fアリーナいちき串木野など4スポーツ施設で1,148人、いきいきタクシーで1,112人の割引を行っている。

問 障害者手帳の情報をスマートフォンで表示できるアプリ「ミライロID」の導入について。

答 スマートフォンアプリを利用することで全国の民間業者による割引や他市の公共施設の割引情報を容易に調べることができる。これらの情報は、障害を持つ方々の経済的支援や社会参加の促進に寄与することが期待され、有益なツールであるため、導入に向けて検討を進める。

マイナ保険証の利用促進は 分かりやすく丁寧な情報発信

問 本市国民健康保険及び後期高齢者医療保険のマイナ保険証の登録率とマイナ保険証の普及と利用促進の取組は。

答 マイナ保険証登録率は、本年3月時点で78.5%で、医療機関の外来受付での利用率は40.9%である。今後も多くの方に利用いただくよう分かりやすく、丁寧な情報発信に努める。

問 マイナ保険証を利用することによるメリットは。

答 マイナ救急はマイナ保険証を活用し、傷病者の薬剤や診療情報、既往歴など正確に把握でき、適切な応急処置、円滑な搬送先病院の選定や搬送先病院での受入れ準備等が期待され、本市でも本年10月に運用開始の予定。



高木 章次
議員



[映像配信ページ]

洋上風力は先進地に学ぶ事が一番 市民・事業者向けの視察を計画

問 洋上風力については課題、心配がないというわけではない。様々な観点から反対する住民もいる。先行している地域に学ぶことが一番確実だと思っている。例えば、北海道の石狩市では沖合約1.6キロと2キロの位置に日本で最大規模の8千kwの風車14基（最大出力11万2千kw、約8万3千世帯の電気に相当）を設置し、2024年1月から運転を開始。市と石狩湾新港管理組合に問い合わせたところ苦情は来っていないとのこと。本市でも岸から1.6キロ離せば良

いと断言するつもりはないが、先進地を可能なかぎり調査し住民に報告すべきではないか。

答 令和4年度に秋田市と能代市、5年度は銚子市を視察。6年度は山形県より遊佐町沖での計画についてご講演をいただいた。これらの内容は広報紙やホームページ等で周知しているが、市民の理解が進んでいないことも承知している。今後は理解促進を図るため、市民・事業者向けの視察を予定。

長崎鼻公園再整備事業は広範囲で 長崎鼻灯台に続く遊歩道等整備

問 ホテルアクシアくしきの内に子供を対象としたミニシアター、図書館、水槽の設置、松林内にミニ鉄道、本市独自の遊具など、ここに来なければ見ることも体験することもできないような公園を目指し、ホテルや松林と接続することを前提に、今の計画を具体化させ

ていくことも必要ではないか。

答 灯台に続く遊歩道の再整備などについて、県の魅力ある観光地づくり事業を活用して整備を進めるとともに、海水プールにあるウォータースライダーの更新も検討しており、長崎鼻公園一帯の魅力創出、価値向上を考えている。ホテルは民間譲渡しているため、いただいた様々なアイデアについては事業者伝えていきたい。

屋内退避への意見は的確だったが 反映される意見もあるのでは

問 原子力規制委員会の屋内退避の運営に関する検討チーム会合報告書案に対する本市の意見は的確、具体的、切実であったが、屋内退避計画において本市からの意見は反映されたのか。

答 最終的な報告書及びQ&Aを作成する中で、反映される意見もあるのではないかと考える。



田中 和矢
議員



[映像配信ページ]

水道基本料免除で市民生活援助を 市民への生活支援策を実施する

問 物価高で市民の生活は厳しい状況である。基本料金免除を延長し生活援助をすべきではないか。

答 広く市民に支援が行き渡る方法として基本料免除を含め最善の支援策を実施したい。

防災訓練を全まちづくり協議会で 自主防災組織の結成を呼びかける

問 線状降水帯により各地で災害が発生と想定した中央まちづくり協議会による訓練・研修が有意義であった。全てのまち協に市から働きかけて実施できないか。

答 6地区で自主防災組織が結成されており、子どもから大人まで参加できる訓練・研修会を市が支援し、各地域防災力の向上に取り組む。

問 高齢者やスマホを持っていない方のために、テレビのリモコンのデータボタン「d」での情報入手を案内したらどうか。

答 周知を行っていききたい。

県営串木野団地付近に防犯灯を 防犯灯の設置が適当な箇所である

問 西塩田町の県営団地入口は夜は暗く、安全に不安がある。防犯灯設置の要望が強い。事故防止のためにも早く対処すべき。

答 団地付近は暗く、道路反対側に防犯灯があるが、植栽帯で光が足元に届かない。市補助による設置が適当な箇所なため、市の補助制度を活用してもらいたい。

串木野高校に情報系学科の設置を 在り方検討会を立ち上げ対応する

問 国の高校無償化が進むと串高の定員割れが更に進む懸念がある。DX化が進む中、情報系学科を設置し、生徒の確保と学校の存続を図る努力が必要ではないか。

答 生徒は多種多様な学科を選択している。庁内で高校支援のあり方検討会を立ち上げ、今後の対応を検討。県でも生徒数減少への対応として、「高校の将来ビジョン検討委員会」を設け、望ましい学校規模や配置等を議論検討する。

技能研修生の交通マナー指導を 警察署関係機関と連携し取り組む

問 約450人の研修生だけでなく勤務先にも自転車の乗り方の指導を行うべきでは。

答 警察署や関係機関と連携して指導と啓発活動に取り組む。



福田 清宏
議員



[映像配信ページ]

五反田川左岸歩道の改修

約 200m 区間の予算確保へ

問 歩道のあちこちにある陥没の改修について伺う。

答 新港大橋から下流の信号交差点付近までの約200mの区間は、経過観察に異常がないので予算が確保でき次第、河川管理者（県）が復旧を行う。残りの東海大橋までの約130mの区間は、新たに車道部で舗装の下がりか確認されたので経過観察を続ける。

問 新港大橋付近のガードパイプの復旧について伺う。

答 既に発注済みで施工の調整が出来次第、工事が行われる。

「冠嶽園」の一部改築

令和8年度大規模改修を計画

問 平成4年4月開園の中国風庭園「冠嶽園」は、薬草の宝庫である山岳仏教の名山冠嶽の縮景と方丈徐福の伝承を顕現し、また旧串木野市が東海を挟んで面している中国との友好交流を深めたいとの願いを込めて、冠嶽山鎮国寺頂峯院跡地に作庭・建築されたが、游歩廊（展示室）と八蓬閣の接合部の柱や梁が数10cm下がっている現況の改築計画について伺う。

答 開園から32年経過し御指摘の游歩廊と八蓬閣の接合部分はこれまで屋根修繕やシロアリ駆除等の対策を部分的におこなってきたが、柱の腐食は年々深刻化し建物全体の劣化も進行しており、令和8年度から抜本的な大規模改修を計画し、今後の活用性と方向性を見極めて検討を進める。

公民館加入・未加入状況調査

いま一度、検討する

問 自治公民館加入・未加入状況調査は今年度より実施しない理由について伺う。

答 自治公民館長に転入情報を知らせることに同意のない個人情報提供については、個人情報の保護に関する法律で制限されていることから、加入世帯数の報告を基に算出する方法に変更した。

問 自治公民館加入・未加入状況調査は個人情報保護法の例外措置に該当するのではないのか。共生協働のまちづくりの原点は、公民館の組織の確立にあり、調査は継続すべきではないか伺う。

答 共生協働のまちづくりを進めるこの基礎データ、一方では、個人情報の保護の観点から、どういった対応ができるのか、今一度、検討し前に進みたい。

請願1件と陳情1件を採択し、関係行政機関へ意見書を提出しました。

【請願第1号】地方財政の充実・強化に関する意見書の提出を求める請願

【請願趣旨】

地方公共団体には、急激な少子・高齢化にともなう社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、DXの推進、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたり新たな役割が求められています。加えて、多発化する大規模災害への対応や新興感染症への備えも求められており、今後も増大する行政需要や不足する人員体制に鑑みれば、より積極的な財源確保が求められます。このため、現行の地方一般財源水準確保より積極的に踏み出し、賃上げ基調に相応する人件費の確保も含めた地方財政を実現するよう、国の関係機関に対して意見書の提出を求めます。

【陳情第2号】ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情

【陳情趣旨】

学校現場では、貧困・いじめ・不登校・教職員の長時間労働や未配置など解決すべき課題が山積し、子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げが不可欠です。

こうした観点から、「さらなる少人数学級の推進、教職員定数改善、複式学級の解消、特別支援学級籍の子どもを交流学級の在籍児童生徒としてカウントすること、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること」などについて、国の関係機関に対して意見書の提出を求めます。

条例の制定・改正・その他

長崎鼻公園を活かした誘客交流拠点 施設整備運営事業に係る設計施工一括 業務請負契約を締結（4月臨時会）

公募型プロポーザル方式による随意契約により長崎鼻公園を活かした誘客交流拠点施設整備運営事業に係る設計施工一括業務の請負業者が決まりました。

契約の相手 (代表企業)	大和リースグループ 大和リース株式会社 鹿児島支店 支店長 内門 康広
契約金額	6億9,511万2千円
工期	議決の日から令和8年9月30日

問 下請発注における市内業者の活用について、契約時に条件を付すべきではなかったか。

答 企画提案時に、建設業務で3社、造園業務で1社の市内企業と一緒に進めていくとの提案があった。市としては、施工だけでなく資機材などを含め、できるだけ市内で調達していただくよう協力をお願いしていく。

問 人を呼び込むという点では、子育てゾーンの整備が重要であるが、どのように整備していく考えか。

答 ワークショップで取りまとめた意見を基に基本設計を行った。今年度も、エリアマネジメントを実施し、ワークショップなどで子育て世代の方々の意見を多く取り入れながら計画を進めたい。ただし、施設の大きさが限られているため、優先順位により必要なものを整備していくことになる。

市議会議員及び市長の選挙における 選挙運動用自動車の使用及びポスター の作成の公営に関する条例の一部改正

市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用ビラの作成に係る経費を、新たに公費負担の対象とするよう改正しました。

- ・市長 16,000 枚
- ・市議会議員 4,000 枚

市税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、改正します。

市民税関係

○給与所得控除の見直し

給与所得控除の最低保障額を上げます。

55万円→65万円

○扶養親族等に係る所得要件の引上げ

①同一生計配偶者及び扶養親族の合計所得金額

48万円以下→58万円以下

②ひとり親の生計を一にする子の総所得金額等の合計額

48万円以下→58万円以下

③勤労学生の合計所得金額

75万円以下→85万円以下

○大学生年代の子等に関する「特定親族特別控除」の創設

合計所得金額が123万円以下の生計を一にする年齢19歳以上23歳未満の特定親族（控除対象扶養親族に該当するものを除く）を有する親等が受けられる控除額を段階的に逦減する仕組みを導入します。

軽自動車税関係

○二輪車の車両区分の見直し（新基準原付の設定）

令和7年11月から厳しい排ガス規制が適用されますが、総排気量の小さい50cc以下の原動機付自転車では規制値をクリアすることが困難なため、総排気量が125cc以下で、最高出力を4.0kW（50cc相当）以下に制御した新基準原付に係る種別割の税率を年額2,000円とします。

たばこ税関係

○加熱式たばこの課税方式の見直し

課税方式を、重量と価格によって紙巻たばこの本数に換算する方式から、重量のみで換算する方式に見直します。

旧冠岳小学校跡地利活用に係る契約について

旧冠岳小学校跡地の活用については、スポーツ・娯楽サービス事業及び障害福祉サービス事業を計画している合同会社心楽動（しんらくどう）を令和7年2月28日に優先交渉権者として決定したところですが、今回、建物を無償譲渡、土地は10年間無償貸付する契約を締結しました。

【事業計画】

- ・令和7年度 校舎解体・新施設整備
- ・令和8年度夏頃
スポーツ施設・カフェ・ネイルサロン等運営開始
- ・令和10年度
運動・スポーツを主とした療育支援施設（児童発達支援や放課後等デイサービス）を運営開始
- ・令和12年度
別途施設を整備し、農業、清掃及びカフェ等による就労継続支援A型事業を運営開始



旧冠岳小学校

問 この事業者の事業の継続性はどうか。

答 審査に当たり、提案された資金計画、運営計画、財務状況等を基に財務能力、事業の継続性を判断し、優先交渉権者として決定した。

問 無償貸付が終了した10年後以降について、事業者が事業を断念した際、跡地は原状回復しなくて良いのか

答 10年後の土地の契約形態については、無償貸付が終了する2、3年前に、そのときの状況で事業者と協議していく。

仮に貸付とした場合には、事業断念した場合の土地の明渡し条項を再度付して、原状回復等々を義務付けた上で、市に返還してもらうことが想定される。

名誉市民の称号を贈ることについて

永年にわたり、いちき串木野市長を務め、市政発展に多大な貢献をなされるとともに、その功績が顕著であった田畑誠一氏に「いちき串木野市名誉市民」の称号を贈ることに全会一致で同意しました。

永年勤続者の表彰

地方自治の発展と振興に貢献された功績により全国市議会議長会から表彰され、6月17日に議場にて表彰状の伝達式が行われました。



【受賞者】

下迫田 良信 議員（写真中央） 議員 35年以上勤続
竹之内 勉 議員（写真左） 議員 30年以上勤続
濱田 尚 議員（写真右） 議員 20年以上勤続

6月定例会補正予算

4億2,858万3,000円の追加計上

学校跡地利活用促進補助金、選挙関連経費 など

《一般会計予算総額 193億1,158万3,000円に》

一般会計

歳入の主なもの

●教育支援寄附金 5万円

●ふるさと寄附金基金繰入金の追加
1億5,000万円

●物価高騰対応重点支援地方創生臨時
交付金 1億2,082万円

●市債の追加 490万円
道路整備事業債・文化施設整備事業債

歳出の主なもの

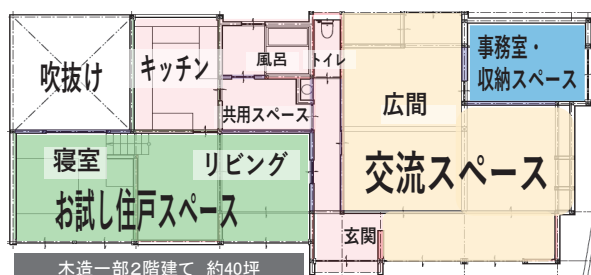
●名誉市民の称号贈呈経費 88万円
前いちき串木野市長の田畑誠一氏に名誉市民の称号を贈るにあたり、称号記・名誉市民章等の経費です。

●交流機能付きお試し住宅整備事業
1,552万円

冠岳地区の空き家を交流機能付きお試し住宅として整備するまちづくり協議会に対し、整備・運営費等を補助します。また、関係人口や移住者の創出、交流人口の増加を図るため、地域資源等を活用した体験メニューを整備し、移住者向けWEBサイト「いーくらしナビ」に掲載し、PRを図ります。

問 地区の方々も交流スペース等利用する中で、お試し住宅利用者のプライベートは保たれるか。

答 お試し住戸スペースは、鍵をかけてお試し住宅として利用される方のみが利用できるよう地区と協議している。



●学校跡地利活用促進補助金 1億5,000万円

旧冠岳小学校跡地を活用し、スポーツ・娯楽及び障害福祉サービス事業を実施する事業者に対して補助します。

●コミュニティ事業助成金 390万円
一般財団法人自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業を活用して、地域の活性化を図り住民福祉の向上に資するため、コミュニティ活動に必要な備品購入等に対し助成します。

●戸籍等への氏名の振り仮名記載事業 81万円
氏名の振り仮名の法制化に伴う戸籍情報システム改修経費です。

●市長・市議会議員選挙費 108万円
市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用ビラの作成に係る経費を新たに公費負担の対象とすることによる補助金と国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正による選挙執行に係る報酬の追加です。

●参議院議員通常選挙費 22万円
国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正による選挙執行に係る報酬の追加です。

●高齢者福祉センター管理費 274万円
高圧引込ケーブルの更新を行うための経費の追加です。

●不足額給付事業 1億453万円
長引く物価高騰対策として、昨年度実施した当初調整給付の際に、本来給付すべき所要額と、当初調整給付額との間で差額が生じた方等に給付金を支給します。

●テレビ受信料 180万円
公用車（17台）に設置しているカーナビのNHK受信料（過年度遡及分を含む。）の追加です。

●保育所等給食支援事業 1,247 万円

給食の提供に必要な食材費等の高騰の影響を受けている保育所等に対して、栄養バランスや量を保った従前どおりの給食等の実施が確保されるよう必要な支援を行います。

補助対象	市内 10 施設
補助対象期間	令和 7 年 4 月から令和 8 年 3 月まで
補助額（各月）	基準単価×物価上昇率（22%） ×毎月初日の園児数

●予防接種事業 2,932 万円

新型コロナウイルスワクチン定期予防接種に関連する経費です。

対象者	65 歳以上及び 60 ～ 64 歳で基礎疾患のある者
自己負担額（予定）	3,800 円
接種期間（予定）	10 月～ 12 月

問

国が補助しない中で、市が負担する必要があるのか。

答

新型コロナは、非常に重症化しやすく、予防接種で重症化予防が図られる。医療の逼迫という側面からも、予防接種を検討していただくため、自己負担額を接種費用の約 25%としている。

●農業水路等長寿命化・防災減災事業 1,000 万円

川北揚水機場・甫並頭首工を改修するための調査設計委託料です。

●次世代エネルギー導入可能性調査及び普及推進事業 1,931 万円

公共施設等の脱炭素化に向けて、再生可能エネルギー導入可能性調査及び再生可能エネルギーの普及啓発を図るための経費です。

●橋梁長寿命化事業 1,050 万円

島津橋の架け替えに伴う調査測量設計委託料の追加です。

●洋上風力発電調査研究事業 618 万円

更なる理解促進と機運醸成を図るため、市民や市内事業者を対象とした、洋上風力発電所や関連事業所の視察に伴う経費です。

市民向けは、今年 10 月頃に定員 20 名程度で秋田県秋田市や能代市の視察を実施する計画で、広報紙等により参加者を募集する予定です。

●ふるさとのづくり支援事業補助金 589 万円

一般財団法人地域総合整備財団からの補助を活用して市内事業者が行う、サワーポメロご当地コスメ開発事業に対し補助します。

●6 次産業化推進奨励補助金 73 万円

地元産の農林水産物などを活用し、加工・販売・サービスなどに新たな付加価値を生み出す 6 次産業化に取り組む個人・団体などに対し補助します。

●都市計画基本図修正事業 2,618 万円

都市計画基本図の修正及び公開型 GIS 構築業務を行うための経費です。

●薩摩スチューデント基金積立金 5 万円

教育支援寄附金の受け入れに伴う薩摩スチューデント基金への積立金の追加です。

●いちきアクアホール非常用発電設備改修事業 90 万円

アクアホール非常用発電設備を改修するための設計委託料です。

水道事業会計

■ ■ ■ ■ ■ 歳入 ■ ■ ■ ■ ■

●給水収益の減額 ▲ 2,550 万円

3 月検針分から実施しているエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民の負担を軽減するための、水道料金の基本料金を 2 か月間延長することに伴う収益の減額です。

●他会計補助金 2,550 万円

2 か月間延長する水道料金の基本料金免除に係る一般会計からの補助金です。

■ ■ ■ ■ ■ 歳出 ■ ■ ■ ■ ■

●テレビ受信料の追加 6 万円

公用車（1 台）に設置しているカーナビの NHK 受信料（過年度遡及分を含む。）の追加です。

「議員と語る会」～ご意見をお聞かせください～

市議会では、令和5年度から、「議員と語る会」の新たな取組を実施しています。議会と市民相互の理解を深め、市民の皆さん方のご意見をお聞かせいただき、議会での政策提言や市などへの要望を行うなどの取組につなげてまいります。

1. 対象となる団体

市内の各種団体等
(参加人員が概ね5名以上の団体等)

2. 開催時期

令和7年8月から令和8年2月まで



【令和6年度は「中央地区まちづくり協議会」と意見交換を行いました】

3. 意見交換の内容

- ①あらかじめ提出していただいたテーマに基づき、意見交換を行います。
- ②テーマの選定に当たっては、市民と議員が意見交換できる内容のものとしします。
- ③建設的な意見やアイデアの提案などがあれば議論が深まります。
- ④道路整備や除草など、いつでも市の関係部署に要望・要請できる内容は対象外とします。
- ⑤時間は、平日、午前10時から午後5時までの間の1時間30分程度とします。
(夜間を希望される場合は、ご相談ください。)

4. 開催場所

原則、各種団体等の希望する会場で行います。(市議会の会議室も使用可能です。)

5. 出席する議員

テーマや申込人数に応じて出席議員を決定します。

6. 申込方法

次のページにある申込書に必要事項を記入し、議会事務局へ提出してください。

なお、ファックス、メールでの提出もできます。

(申込書は、市ホームページの「市議会」にも掲載してあります。) 申込書はこちらから▶



7. 申込期間

令和7年8月1日から令和8年1月上旬まで

8. その他

開催日時等の詳細については、申し込みされた団体等と協議して後日連絡いたします。

【問い合わせ先】 いちき串木野市役所 議会事務局

TEL 33-5648 FAX 32-3124 E-Mail gikai1@city.ichikikushikino.lg.jp

「議員と語る会」申込書

		申 込 日	令和 年 月 日
団 体 名	(ふりがな)		
代表者氏名	(ふりがな)	参加予定人数	人
代表者住所	〒 ー いちき串木野市 電話 携帯		

希 望 日 時	第1希望	令和 年 月 日 (曜日) 時 分 ～ 時 分
	第2希望	令和 年 月 日 (曜日) 時 分 ～ 時 分
希 望 会 場		
テ ー マ		
テーマの趣旨 ※具体的な内容など		
備 考		

【お願い】

議員と語る会のテーマ、日時、場所等の詳細については、後日、団体等の代表者と協議（調整）させていただきます。

政務活動費報告(令和6年度)

政務活動費は、調査研究、研修、広報、広聴、要請・陳情のほか、各種会議への参加など、市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映するための活動等が対象になり、本市では議員個人に交付されています。
※政党活動や選挙活動、後援会活動のほか、私人としての活動のための経費等は対象外です。

政務活動費は、**議員1人当たり月額1万円**を交付しています。

残額があった場合は返納しています。(交付額を超えた場合は自費負担)

■令和6年4月～令和7年3月分(交付限度額12万円/年)

(単位:円)

議員名	交 付 額	項 目	支 出 額	主 な 支 出 内 容
田 畑 和 彦	36,827	広報費※	15,927	印刷用紙、インクカートリッジ
		資料購入費	20,900	書籍代(住宅地図)
西 田 憲 智	120,000	調査研究費	85,397	視察研修代(交通費及び宿泊費含む)
		研修費	159,980	受講料等
高 木 章 次	0	—	—	
江 口 祥 子	92,640	研修費	91,040	視察研修代(交通費及び宿泊費含む)
		資料購入費	1,600	書籍代(「これで解決!母子登校」)
吉 留 良 三	120,000	調査研究費	101,577	視察研修代(交通費及び宿泊費含む)
		広報費※	26,863	議会報告印刷代
松 崎 幹 夫	35,877	調査研究費	35,877	視察研修代(交通費及び宿泊費含む)
田 中 和 矢	0	—	—	
大六野 一 美	0	—	—	
濱 田 尚	42,877	調査研究費	42,877	視察研修代(交通費及び宿泊費含む)
東 育 代	56,916	広報費※	6,065	印刷用紙
		資料作成費※	17,851	インクカートリッジ
		資料購入費	33,000	書籍代(日本教育新聞)
竹之内 勉	45,849	調査研究費	35,877	視察研修代(交通費及び宿泊費含む)
		資料購入費	9,972	書籍代(地方議会人ほか)
下迫田 良 信	29,596	資料作成費※	29,596	プリンター、用紙、インク代
原 口 政 敏	0	—	—	
福 田 清 宏	110,990	調査研究費	42,877	視察研修代(交通費及び宿泊費含む)
		資料作成費※	68,113	FAX 対応複合機インク・メンテナンス ボックス、ノートパソコン、プリンター 修理代
中 里 純 人	34,495	調査研究費	7,000	視察研修代
		資料作成費※	3,847	プリンターインク、用紙
		資料購入費	23,648	書籍代(住宅地図等)

※印が付いた項目は、総額の50%までを政務活動費の対象とすることができます。

○ 4 月臨時会の表決結果

議案番号	議 案 の 件 名	議 決 結 果	
議 案 第 29 号	専決処分の承認を求めることについて	承 認	全会一致
議 案 第 30 号	長崎鼻公園を活かした誘客交流拠点施設整備運営事業に係る設計施工一括業務請負契約の締結について	可 決	賛成多数
議 案 第 31 号	いちき串木野市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議 案 第 32 号	長崎鼻公園ソフトボール場の指定管理者の指定期間の変更について	可 決	全会一致

○ 6 月定例会の表決結果

議案番号	議 案 の 件 名	議 決 結 果	
議 案 第 33 号	いちき串木野市議会議員及びいちき串木野市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議 案 第 34 号	栄養士法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
議 案 第 35 号	いちき串木野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及びいちき串木野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議 案 第 36 号	いちき串木野市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議 案 第 37 号	財産の無償譲渡について	可 決	全会一致
議 案 第 38 号	財産の無償貸付について	可 決	全会一致
議 案 第 39 号	いちき串木野市川上生活改善センター条例を廃止する条例の制定について	原案可決	全会一致
議 案 第 40 号	いちき串木野市名誉市民の称号を贈ることについて	同 意	全会一致
議 案 第 41 号	いちき串木野市固定資産評価員の選任について	同 意	賛成多数
議 案 第 42 号	いちき串木野市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
予 算 議 案 第 2 号	令和 7 年度いちき串木野市一般会計補正予算（第 1 号）	原案可決	全会一致
予 算 議 案 第 3 号	令和 7 年度いちき串木野市一般会計補正予算（第 2 号）	原案可決	全会一致
水 道 予 算 議 案 第 2 号	令和 7 年度いちき串木野市水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決	全会一致
請 願 第 1 号	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出を求める請願	採 択	全会一致
陳 情 第 2 号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026 年度政府予算に係る意見書採択の陳情	採 択	全会一致
意 見 書 案 第 1 号	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	原案可決	全会一致
意 見 書 案 第 2 号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度の負担率の引上げをはかるための、2026 年度政府予算に係る意見書の提出について	原案可決	全会一致

■賛否が分かれた議案

○は賛成、●は反対、* 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議 案 名	田 畑 和 彦	西 田 憲 智	高 木 章 次	江 口 祥 子	吉 留 良 三	松 崎 幹 夫	田 中 和 矢	大 六 野 一 美	濱 田 尚	東 育 代	竹 之 内 勉	下 迫 田 良 信	原 口 政 敏	福 田 清 宏	中 里 純 人
議案第 30 号	長崎鼻公園を活かした誘客交流拠点施設整備運営事業に係る設計施工一括業務請負契約の締結について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*

令和7年第4回(9月) 定例会の日程(案)

第4回(9月)定例会を下記の日程で行います。
※今後の状況により、変更になることもあります。

月 日(曜日)	内 容
8月28日(木)	本会議(開会日・議案質疑)
9月5日(金) 9月8日(月)	本会議(一般質問)
9月9日(火)	常任委員会(総務厚生委員会)
9月10日(水)	常任委員会(産業教育委員会)
9月17日(水) ～19日(金)	決算審査特別委員会
9月30日(火)	本会議(最終日)

※開会はいずれも午前10時からです。

表紙写真募集!

次号(11月5日発行予定)の
表紙写真を募集します。

応募期限は
10月5日まで。



※詳しくは市のホームページをご覧ください。

議会だより



検索

★応募は
こちらから



議会の動き(令和7年5月～7月)

■ ■ ■ 5月 ■ ■ ■

- 2日 議員全員協議会
臨時会本会議(最終日)
議会運営委員会
- 13日～14日
総務厚生委員会先進地行政視察
(佐賀県鹿島市・福岡県大川市)
- 14日～15日
産業教育委員会先進地行政視察
(宮崎県西都市・鹿児島県曾於市)
- 19日 鹿児島県市議会議長会臨時総会
- 20日 全国市議会議長会定期総会
- 28日 議会運営委員会

■ ■ ■ 6月 ■ ■ ■

- 4日 議会運営委員会
- 6日 議員全員協議会
本会議(開会日・議案質疑)

- 16日 一般質問
- 17日 一般質問
- 18日 常任委員会(総務厚生委員会)
- 19日 常任委員会(産業教育委員会)
- 25日 議会運営委員会
- 27日 議員全員協議会
本会議(最終日)
議会広報特別委員会

■ ■ ■ 7月 ■ ■ ■

- 4日 衛生処理組合議会臨時会
- 7日 議会広報特別委員会
- 9日～10日
議会運営委員会先進地行政視察
(大分県中津市・福岡県豊前市)
- 11日 議会広報特別委員会
- 17日 議会広報特別委員会
- 24日 議会広報特別委員会
- 24日～25日
県市議会議長会定期総会(枕崎市)

編集後記

今年は短い梅雨から猛暑や酷暑の言葉通り、熱中症対策を必要とするライフスタイルとなり、年々『暑い』夏ですが、この季節ならではのイベントや行事等で『熱い』人々や地域に元気と活気を感じます。これからのまちづくりも、『厚い』信頼と連携で共に一步を踏み出し前進・進化していきましょう。当委員会委員長として、学び多き議会広報に携われたことに感謝です。改選までわずか最期までご愛読いただきありがとうございます。

(西田 憲智)

議会広報特別委員会

委員長 西田 憲智
副委員長 東 育代
委員 田畑 和彦
// 高木 章次
// 江口 祥子
// 福田 清宏